注記事項

1　当期増加額のうち主なものは、次のとおりです。

建設仮勘定	虎ノ門二丁目地区再開発事業に伴う権利変換	42,100,491,727円
機械装置	抄紙機	3,433,145,400円
ソフトウェア	官報システム	2,854,342,140円

2　当期減少額のうち主なものは、次のとおりです。

土地	虎ノ門二丁目地区再開発事業に伴う権利変換	40,161,999,000円
	不要財産の現物による納付	521,351,000円
建物	虎ノ門二丁目地区再開発事業に伴う権利変換	4,022,084,872円

3　償却費損益外有形固定資産はありません。

2　たな卸資産の明細

（単位：円）

種類	期首残高	当期増加額		当期減少額		期末残高	摘要
		当期購入・製造・振替	その他	払出・振替	その他		
製品	4,675,077,595	52,259,712,051	0	52,063,523,432	16,849,465	4,854,416,749	
半製品	2,894,878,826	33,187,239,982	0	33,162,423,269	198,807,768	2,720,887,771	
原材料	1,642,042,838	6,477,145,706	0	6,432,782,634	26,874,477	1,659,531,433	
仕掛品	5,594,717,039	89,442,447,105	0	88,723,419,588	36,075,684	6,277,668,872	
貯蔵品	1,827,627,856	4,521,439,486	0	4,539,770,049	34,117,731	1,775,179,562	
合計	16,634,344,154	185,887,984,330	0	184,921,918,972	312,725,125	17,287,684,387	

注記事項

「当期減少額」の「その他」欄の金額は、製品廃棄損、たな卸資産低価評価損等の金額であります。なお、前期に計上したたな卸資産低価評価損の期首における戻入れ額を含めております。

3　有価証券の明細

⑴　流動資産として計上された有価証券

（単位：円）

	種類及び銘柄	取得価額	券面総額	貸借対照表計上額	当期費用に含まれた評価差額	摘要
満期保有目的の債券	譲渡性預金	9,900,000,000	9,900,000,000	9,900,000,000	0	
	計	9,900,000,000	9,900,000,000	9,900,000,000	0	

⑵　投資その他の資産として計上された有価証券

（単位：円）

	種類及び銘柄	取得価額	券面総額	貸借対照表計上額	当期費用に含まれた評価差額	摘要
	大阪府公募公債（第91回）	1,002,560,000	1,000,000,000	1,002,350,164	0	
	横浜市公募公債（第40回）	902,772,000	900,000,000	902,625,374	0	
	大阪府公募公債（第115回）	500,320,000	500,000,000	500,314,389	0	
	大阪府公募公債（第112回）	499,675,000	500,000,000	499,696,904	0	